



2021年11月29日

各位

会社名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 南 洋 一 郎
(JASDAQ・コード番号: 6769)

問い合わせ先 取締役総務部長 山 本 武 男
電話番号 03-5217-6660

USB4 (40Gbps)向け超小型リドライバ新製品サンプル出荷開始のお知らせ

ー 情報端末利用環境を統合する次世代 USB 規格の利便性向上に貢献 ー

当社グループは、高速インターフェース・画像処理技術の分野で世界をリードする LSI 事業と AI・IoT の分野で知的財産を創出し様々なソリューションを提供する AIOT 事業との 2 つの事業を柱として事業を展開していますが、この度、次世代データ転送規格である、USB4 搭載情報端末の利便性向上に貢献するため、アクティブケーブル用の超小型リドライバ新製品 THCE20RD2U11 のサンプル出荷を開始しましたので、お知らせします。

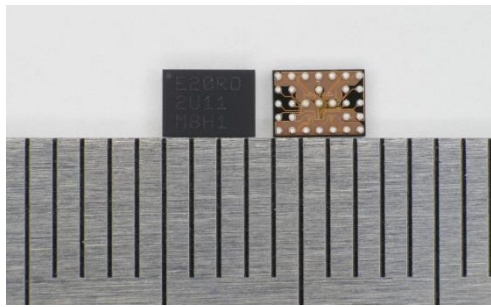
今般、サンプル出荷を開始した THCE20RD2U11 は、USB4 のデータ転送距離を延長することを可能にする、超小型リドライバ新製品の第一弾です。USB 規格が規定するパッシブケーブルでのデータ転送距離は 80cm ですが、銅線のアクティブケーブル (ACC: Active Copper Cable) に搭載することにより、データ転送距離を約 2m50cm まで延長することが可能となり、利便性の向上に貢献します。従来類似製品に比べ約半分のチップ面積を実現しました。

USB4 は、Type-C コネクタを経由して双方向最大 40Gbps (1 秒間に 400 億ビット、現在広く普及している USB3.2Gen1 (SuperSpeed USB) の 8 倍速度でのダウンロードが可能) のデータ転送が可能になるほか、240W の電力供給が可能^(注)とされています。例えば、USB4 搭載モニタを活用する場合にはノート PC など情報端末本体以外の電源ケーブル、キーボード、カメラ、マウス、外付け GPU 等は全てモニタに接続し、電源供給も含めて活用することが可能となるため、情報端末を利用する環境をシンプルに統合できます。一方で、情報端末の作業機の隣や下に配置した外付け GPU 等との間の距離を 80cm 以内になければならないなどの制約を受けることが想定されます。これに対して、今回新開発したリドライバ新製品を搭載した ACC を使用することによって、情報端末を利用する環境の利便性向上が期待されます。

当社は、USB4 に対応した、光ファイバを用いるアクティブケーブル (AOC: Active Optical Cable) に向けたトランシーバ新製品も開発中であり、USB4 を中心とした、情報端末の利用環境の高度化に貢献してまいります。

こうした新製品・新ソリューション提供を加速するため、当社は研究開発チームの強化、優れた人財の採用にも注力する計画です。

さらに、当社は今後、リモートワークの定着やメタバース (仮想空間) を活用するユースケースの拡大などに伴い、より高速のデータ転送が求められるトレンドを踏まえ、40Gbps データ転送を可能とする USB4 を超える、Beyond5G 時代に対応した、超高速情報伝送ソリューションの開発・提供などにも取り組み、新たな価値の提案を進めていく方針です。



新製品 THCE20RD2U11 の写真

■THCE20RD2U11 の特徴

- ・ CML 対応リドライバ機能 (1 入力 1 出力×2 チャンネル)
- ・ 3.3V 単一電源駆動
- ・ 超小型パッケージ： aWLP35 (2.47mm x 3.41mm)

(注)ACC が供給できる電力の容量および距離は ACC の仕様に依存します。

ご注意:本文中における各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。

<報道機関各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社 取締役総務部長 山本 武男
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 9-1 MD 神田ビル 4F
TEL 03-5217-6660 FAX 03-5217-6668
URL: <http://www.thine.co.jp> E-mail: ir@thine.co.jp

<お客様各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社 営業部 ([お問い合わせフォーム](#))